

令和5年度経済学部学生チャレンジプロジェクト事業成果報告書

女子大生が高松盆栽を盛り上げる！

代表 大井 香穂（経済学科 2年生）

（1）目的と概要

海外では日本の文化や伝統工芸に対し「Cool Japan」と高く評価されている。そのなかでも盆栽は「BONSAI」の表記で通じるほど海外からの人気が高く、盆栽ブームが到来してから数年が経過した今でも一定の人気を維持し続けている。

一方、香川県高松市鬼無・国分寺地区は、松盆栽の全国シェア約8割を占めるほどの一大産地であるにもかかわらず、高松盆栽の認知度は低いままという現状にある。また、地場産業の観点からも、高松盆栽を存続していくための後継者が不足しているという問題を抱えている。これらの背景には、世間が盆栽に対して抱いている「男性」「高齢者」「高価」といった親しみにくいイメージが大きく影響していると考えられる。

そこで、このプロジェクトでは、これらのイメージとは正反対の女子大生である私たち Bonsai☆Girls Project（以下、BGPと略する）が、プロの盆栽作家と盆栽に興味を持っている人々を繋ぐ架け橋となり、女子大生の目線から高松盆栽の魅力を発信し、認知度向上を図ることを目的とした。

高松盆栽の認知度を向上させるため、具体的には、昨年度に引き続き、「ZINE（ジン）」というフリーペーパーを作成し配布した。私たちが盆栽に関するヒトやモノ、スポットを取材して、これまでの盆栽に対する親しみにくいイメージを払拭し、より身近に感じてもらえるように、さまざまな情報を発信してきた。その他にも新しい要素を取り入れながら、さらに活動を発展させてきた。

（2）実施期間

令和5年7月1日から令和6年3月31日まで

（3）成果の内容

1) このプロジェクトの具体的な成果

昨年度から引き続き、「ZINE」というフリーペーパーを作成した。このことにより、私たちの活動のターゲットである「女性」や「若者」に向けて、高松盆栽の魅力や親しみやすさを発信し、盆栽をより身近に感じられる環境を提供できた。この取り組みは、今まで盆栽に馴染みのなかった「女性」や「若者」に高松盆栽を知ってもらうきっかけの創出につながった。

また、昨年度からの取り組みに加えた新たな取り組みとして、香川大学のプロジェクトである「KAGAWA Maker」と合同でフリーペーパーの作成を行った。他プロジェクトとコラボ

ボしたフリーペーパー作成することで、今までよりも頻度を上げた発行が可能となり、発行部数の増加をはじめ、記事の内容も今までよりも多くのトピックを掲載することができた。また、これまでBGPを知らなかった新たなターゲット層にも高松盆栽の魅力を発信し、今まで盆栽に馴染みのなかった女性や若者にも高松盆栽の魅力を知ってもらうきっかけの創出につなげることができた。さらに、完成記事の配布の際にSNSに投稿することで、より多くの人々の目にとまるようになり、私たちの活動とともに高松盆栽の認知度やイメージを向上させることができた。香川県の特産品を発信しているKAGAWA MakerとBGPが今回のフリーペーパーコラボをきっかけに、今後もコラボして活動していくことも視野に入れて活動を実施していきたいと考えている。

具体的な ZINE の内容

第 12 号 生活に癒しを 苔玉を楽しむ	第 13 号 国分寺地区の盆栽スポット特集
メンバーのおすすめ盆栽の紹介	高松盆栽の郷
苔玉の育て方の紹介	平松春松園

第 14 号 花澤明春園で盆栽教室&インタビュー	第 15 号 おいしい盆栽を味わう 盆栽スイーツ特集
メンバーが行う盆栽教室の密着	綾南自然菓子 Showado
高松盆栽についてのインタビュー	BGP オリジナルスイーツの紹介

現在、上記の内容すべての記事が完成し、各号の取材先をはじめとして、主に高松市内の施設に配布した。

01 #一万点以上の盆栽ずらり 高松盆栽の郷



盆栽の郷では、盆栽に関するイベントの開催や販売、管理説明、購入者のサポートなどを行っています。自分好みの盆栽を探しに足を運んでみてはいかがでしょうか？

盆栽の郷を含めた発掘 - 国分寺地区の魅力は？
日本一の盆栽の郷が誇るエリアを牽引する、他にはないものを持っている所が魅力です。例えば、海外留学生が盆栽について学習する国分寺地区にあったり、コガネアザミを栽培している園芸家も増えていて、ユーザーに楽しんでもらえるようなイベントなども企画・検討中です。

高松盆栽を愛するうえで心がけていることは？
YouTubeやSNSで発信している。園芸に向けての勉強会に参加を入れています。情報発信で顧客を呼び、愛好家を増え、さらに生産者も増えていくことで後継者不足を補っていくのではないかと考えています。

今後取り組んでみたいこと
現在行っていることを継続しつつ、よりバージョンアップさせた活動をしたいと思っています。盆栽のファンを増やすように色々な活動に取り組みたいです。

盆栽に興味がある方、初心者の方に一言！
ワークショップや体験教室などにも参加できるので、楽しいと思わずに気軽に来てくださいます。

高松盆栽の郷
〒769-0102 香川県高松市国分寺町国分353-1
TEL：087-874-2755
営業時間：8時30分～17時00分
ウェブサイト：Takamatsu-bonsai.com

02 # "Bonsai" の魅力を世界へ 平松春松園



盆栽の匠～
日本一の盆栽産地、国分寺の真ん中に位置する平松春松園。4代目の平松浩二さんは「職人」の技を次世代、継承中に広めるべく積極的に活動しています。

平松春松園さんの特徴は？
一言で表すと「盆栽を世界へ広めていく行動力」です。最近では海外のイベントで実演を行ったり、園の敷地内で開催された特別展示や体験もしたりしています。多様な国籍の方々と交流することが多いため、自分から積極的にコミュニケーションをとることを心がけています。

平松さんが考える盆栽の魅力とは？
緑やかな景色は見ていただけでヒーリング効果があり、人の心を癒してくれることです。

SNSで発信する上で意識していることは？
Before-Afterの2枚の写真を載せることによって、職人の技術による仕事の完成度がよく分かるように意識しています。また、海外の方にとっての作りやすさやInstagramやYouTubeでは英語で投稿することが多いです。

やりがいを感じる時は？
盆栽を自らの手で美しいものに仕上げることが出来たときです。そのために、日々技術や知識の研鑽を怠りません。ひとりの「職人」として盆栽に対してひたむきに向き合い続けています。

平松春松園
〒769-0101 香川県高松市国分寺町国分新居2365-2
TEL：090-8697-0332
ウェブサイト：syunsyouen.com

←記事の例

第 13 号
高松盆栽の郷への取材
平松春松園への取材

綾南自然菓子 Showado

3代目 土肥三日子さんにインタビューさせていただきました



苺をモチーフにしたケーキジャンジャンは、5年前に三日子さんの父 宗弘さんが考案されたケーキです！苺をイメージした、抹茶のムースケーキと苺が詰まっています。上には自家製ローゼリーを押しつけて、苺三葉草のようなとても可愛くないような目になっています。

商品名の由来について伺ったところ、「苺(フラスカ菓子)という種類のイメージがあったようで、フランス語で苺を意味するジャポンを商品名にしたようです。これを味わう際の体験は苺のようですが、抹茶が好きな若い方のお口にも合うと思います！」

Showadoとは-昭和屋の歴史-

Showadoさんは、「昭和」時代に「昭和」という地域の名前に由来して創られたお菓子屋さんです！もととは和菓子屋さんだったようですが、今は洋菓子中心に販売されています。昭和の自然を意識して、イチゴやローズマリー、シナモンなど様々な果物の実をアレンジしています！

人気商品-ちびたまシュー-

Showado1番人気の商品は「ちびたまシュー」だそうです！高級卵エプロイタルを使用しています。エプロイタルとは、フランス語で「卵」という意味です。卵の黄身と砂糖を混ぜた生地を焼いたもので、サクサクとした食感があります。ちびたまシューは、ちびたまシューお自慢の方は、ぜひお電話を！

今後の展望-感動させるお菓子作り-

今後、お客様に美味しいと思ってもらえるだけでなく、食育の観点から栄養豊富な食品を商品にするように、意識していきたいです。そんなお菓子作りをたいと仰っていました。また、香川県産産物の産地認定の素材を活かしたお菓子も考案中だそうです！

綾南自然菓子 Showado 本店

○住所	〒761-1101 香川県綾川郡綾川町徳田2719-2	○電話番号	087-877-0447 C完結時間 9:30-18:30
○メールアドレス	showado@sho.me.jp	○定休日	無休(不定休有り)
○Instagram	showado_nyuzansenzaki	○駐車場	有り



Bonsai☆Girls Project オリジナルスイーツ BonBonアイス



BonBonアイスとは？

2023年10月28・29日に香川県高松市富分母町の店舗で開催された「高松地域のスイーツ」2023)で初お披露目したBonBonアイスを、メンバーが考案したスイーツの紹介についてお話しします！

主、桜、苺をイメージして作った「高松」アイスに香川の名産「おひろ」をトッピングした苺×おひろの香川ならではの味を楽しんでいただくことができます。

BonBonアイスにはサクサクのフェスティバルを構成するアイスイメージしてトッピングしました。アイスの上に乗せておひろのトッピングが苺×おひろをイメージしています。同時に、アイスの上に乗せているお菓子は高松の伝統菓子「おひろ」(高松市の特産物)です。おひろは400年以上の歴史があるそうで、明治時代、高松市の商家社として、高松の商賈が海外に持参したと伝えられています。高松産の素材を使用したことが結果だそうなんです。おひろの味を再現するために、高松産の素材を使用したことが結果だそうなんです。おひろの味を再現するために、高松産の素材を使用したことが結果だそうなんです。

さらに、BonBonアイスにのっているカップには、BGPオリジナルキャラクターの「高松自然菓子」をモチーフに描かれています。1つ1つ異なるイラストをメンバーが描いており、とても可愛いんです！ぜひお電話を！

BonBonアイスは今後イベント内で提供させていただく可能性がありますので、見かけの際は是非BGPの運営フェスへお越しください！メンバー一同お待ちしております！



←記事の例
第 15 号
綾南自然菓子 Showado
への取材
オリジナルスイーツ
BonBon アイスの紹介

製本は (株) ブックフロントの製本直送.com に各号 200 部ずつ発注した。インターネットの取引であったが、大学への見積書・請求書・納品書の提出が可能であった。完成したZINE は取材に協力していただいたお店や盆栽園、高松盆栽の郷、瓦町 FLAG、栗林公園、アパマンショップといった高松市内の施設に配布した。また、直島地域活性化プロジェクトやさかいで沙弥島プロジェクトが運営するカフェ、Kitahama Lab が運営する案内所、SteeP の協力で大学内にもフリーペーパーを設置・配布した。各号計 800 部を KAGAWA Maker と協力して配布し、残りはワークショップ等に参加していただいた方に配布する予定である。

↓ 配布の様子



2)このプロジェクトが大学や地域社会の活性化、学業の振興等に対してもたらした影響
あるいは効果

大学にもたらした影響としては、将来地域に貢献できる人材の育成につながったということがあげられる。プロジェクト活動を通して、大学の授業だけでは体験できない、実践的な深い学びを得ることができた。具体的には、責任感や協調性など、社会で役立つ能力を養うことができた。

地域にもたらした影響としては、ZINEの作成により、私たちの活動のターゲットである「女性」や「若者」が高松盆栽をより身近に感じる機会を創出できたことがあげられる。またZINEの取材先の宣伝にも効果的であり、ZINEはBGPと取材先、双方の今後の発展に役立つと考えられる。

(4) プロジェクトから学んだこと

このプロジェクトを通して、地域の方々や企業の方々など多くの関係者との交流ができ、メンバーにとって良い刺激になったと感じている。また、ZINEの取材にあたって、事前に担当者とメールや電話で連絡を取る機会が多く、社会に出た際に必ず役立つマナーやスキルを身につけることができた。

取材や記事作成の段階で、メンバー自身が高松盆栽についての知識を新たに知ることも多く、このフリーペーパー作成でできた繋がりから、さらに地域の方々との関わりを深め、活動を発展させていきたい。

今回の初めての取り組みとして、KAGAWA Makerと合同でフリーペーパーの作成を行った。他プロジェクトと協力して活動することで新たな視点からのアプローチが可能になり、密にコミュニケーションをとることで予定通りに発行を進めることができた。このことからコラボして創り上げていく際には、互いに協力してコミュニケーションを取り合うことや、計画が崩れる可能性があることを十分に考慮した上で、余裕を持って活動に取り組むこと、任せられた仕事に対しては責任もって期限内に作業を終えることが、物事をスムーズに進めていくうえで大切であることを学ぶことができた。これらの学びや経験を今後の活動に役立てていきたい。

(5) 実施メンバー

代表	大井 香穂	(経済学部・2年)
	桑原 優月	(経済学部・3年)
	植田 菜月	(経済学部・3年)
	應江 あかり	(経済学部・3年)
	香川 夏実	(経済学部・3年)
	川原 つかさ	(経済学部・3年)
	河原 由依	(経済学部・3年)
	美馬 妃華	(経済学部・3年)
	森前 ひなた	(経済学部・3年)
	渡部 里莉花	(経済学部・3年)
	竹本 理世	(経済学部・2年)
	嶋津 千咲	(創造工学部・2年)
	芦内 奈菜	(経済学部・1年)
	井内 清楓	(経済学部・1年)
	池井 あずさ	(経済学部・1年)
	伊丹 礼	(経済学部・1年)
	木元 さくら	(経済学部・1年)
	妹尾 萌花	(経済学部・1年)
	西崎 玲音	(経済学部・1年)
	森本 美咲	(経済学部・1年)
	大島 郁織	(創造工学部・1年)
	岡嶋 羽菜	(創造工学部・1年)
	三好 菜月	(創造工学部・1年)
	猪谷 蒼月	(法学部・1年)

(6) 執行経費内訳書

配分予算額		86,256円		
執行経費(品目など)	数量	単価(円)	金額(円)	備考
交通費	3	560	1,680	電車代(高松 - 端岡)
	3	1,480	4,440	電車代(高松 - 多度津)
	1		6,879	ガソリン代
製本代	400		62,180	200部×2
備品購入	1	3,961	3,961	インクカートリッジ
盆栽代	3	2,200	6,600	
合計			85,740	

